

# 松江市 報道提供資料

令和 7 年 6 月 20 日

## 件名

「あすチャレ！スクール」の実施について(一部訂正)

## 内容

パラアスリートが自らの体験をもとに、パラスポーツデモンストレーションや体験、講話を通じて子どもたちに「可能性に挑戦する勇気」「夢や目標を持つ力」などを伝える「あすチャレ！スクール」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)を市立小・中・義務教育学校で実施します。

【講師】永尾 嘉章(ながお よしふみ) 氏

(夏季パラリンピックに 7 大会出場。アテネ 2004 パラリンピック日本選手団主将・陸上競技 4×400m(T53/54 クラス) 銅メダリスト)※経歴詳細は別紙

## 【スケジュール】

6月24日(火) 9:45～11:15 玉湯学園 (5年生 92人)

6月24日(火)13:45～15:15 母衣小学校 (3年生 72人)

6月25日(水)14:05～15:35 第二中学校 (特別支援学級1～3年生 30人)

6月26日(木)13:45～15:15 大庭小学校 (4年生 76人)

6月27日(金) 9:45～11:15 八束学園 (5年生 29人)※取材不可

【取材】 学校での取材を希望される場合は、あらかじめ下記までご連絡ください。

【問い合わせ】 文化スポーツ部スポーツ振興課 担当:江戸・錦織 電話:0852-55-5296

(開催実績) 平成 28～令和 6 年度に、市内延べ 28 校(小学校 21、中学校 7)で実施。

令和 2～3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。

## ～ あすチャレ！スクール事業概要 ～

【主催】 公益財団法人 日本財団パラスポーツサポートセンター

【実施内容】 90分を基本として、以下の内容で実施します。

### ① パラスポーツデモンステーション

パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見ることで迫力やスキルを肌で感じ、「すごい」「かっこいい」を体感しながら、障がいに対する意識の転換を図ります。「応援」することにも着目し、ただプレーを見るだけでなく、応援することの意義、効果、力を実感することができます。

### ② パラスポーツ体験

パラスポーツを体験することで「楽しさ」「難しさ」を頭で理解するのではなく、体を使って理解することができます。ミニゲームを行う児童生徒と、それを応援する参加者全員に一体感が生まれ、難しいことにも一生懸命取り組むことの大切さを体感することができます。

### ③ 講話

講師がパラスポーツを通じて得た体験・教訓を交えながら、「4つの学び※」について参加者と考えます。講師とコミュニケーションを取ることで、障がいに対する理解や、新たな気づきを与えます。

※「4つの学び」・ ・ <他者のことを自分ごととして考える心> <障がいとはなにか？>  
<可能性に挑戦する勇気> <夢や目標を持つ力>

### 【講師】永尾 嘉章（ながお よしふみ）氏

夏季パラリンピックに7大会出場（夏季大会出場回数は日本人最多）  
アテネパラリンピック日本選手団主将  
パラ陸上4×400m（T53/54クラス）銅メダル獲得



高校1年生の時に陸上競技を始め、風を切るスピードに魅了されパラスポーツの素晴らしさを実感する。『個人種目でのメダル獲得』を目標にパラリンピックに挑戦し続けて35年。ソウル大会から日本人最多となる7大会に出場し、世界選手権など国際大会でも優勝、上位入賞しているパラ陸上界のレジェンド。リオパラリンピック後の2017年に引退。競技サポーターだった穴織カーボン株式会社に所属し講演会、世界選手権の解説を務める活動の傍ら、日本パラ陸上競技連盟で後進の指導をしている。

## 「あすチャレ! スクール」メディア資料

「あすチャレ! スクール」のご取材をいただきありがとうございます。

本授業に関して記事、番組等でご紹介いただけます際には

「あすチャレ! スクール」(主催: <sup>にっぽんざいだん</sup>日本財団パラスポーツサポートセンター)

とコメントまたはクレジット記載をお願いいたします。

※主催部分に関しましては、クレジットでの記載が難しい場合はコメントのみでも問題ございません。

本プログラムを含む「あすチャレ!」は、パラアスリートを中心とした講師たちが伝えるリアルから、これからのより良い社会を創り出していくためのヒントや気づき、そして、明日へのチャレンジ「あすチャレ!」へとつなげるきっかけを提供します。

小・中・高・特別支援学校向け教育プログラム、企業・団体・自治体・大学向けの研修プログラムがあり、子どもから大人まで全国で活用されています。

2016年のスタートから10年目となる2025年度は、株式会社JTB、株式会社アシックス、日本電気株式会社(NEC)、日本航空株式会社(JAL)、中外製薬株式会社の協賛5社の皆さんと協力しながら、全国で年間900回以上の開催を目指します。※「あすチャレ!」教育・研修プログラム 2025年度の協賛については以下リリースをご参照ください。  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000143.000023445.html>

## 小・中・高・特別支援学校向け教育プログラム「あすチャレ! スクール」とは

日本財団パラスポーツサポートセンター(パラサポ)が主催する「あすチャレ! スクール」は、パラアスリートを中心とした障がい当事者講師から共生社会を学び、小・中・高・特別支援学校向けパラスポーツ体験型出前授業。パラスポーツを通じて、児童生徒たちに共生社会への気づきや学びの機会を提供します。

2016年4月に開始した本プログラムは、2024年3月末までに、**通算2,607回、29万人以上**の児童生徒が参加しています。



■ 実績	2016年度:109回(18,575人)	2017年度:256回(42,741人)	2018年度:294回(46,253人)
	2019年度:285回(41,889人)	2020年度:134回(12,559人)	2021年度:277回(23,960人)
	2022年度:344回(30,537人)	2023年度:432回(38,267人)	2024年度:476回(40,572人)

## 特徴① 効果的な3部構成のプログラム!

パラスポーツデモンストレーション⇒パラスポーツ体験⇒講話の流れで、初めにパラスポーツの「すごさ」「かっこよさ」を体感でき、「障がい」に対する意識の転換を図り、「伝えたい気づきと学び」をより効果的に促すことができます。



### 《パラスポーツデモンストレーション》

パラアスリートのパフォーマンスを生で見ることによって迫力やスキルを肌で感じ、「すごい」「かっこいい」を体験しながら、障がいに対する意識の転換を図ります。



### 《体験》

パラスポーツを体験することで「楽しさ」「難しさ」を頭で理解するのではなく、体を使って理解することができます。



### 《講話》

講師がパラスポーツを通じて得た経験・教訓を交えながら、「4つの学び」について子どもたちと一緒に考えます。

## 特徴② パラアスリートが講師！



根木 慎志(ねぎ しんじ)

【車いすバスケットボールプログラム】  
シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン  
日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ！」プロジェクトディレクター



加藤 正(かとう ただし)

【車いすバスケットボールプログラム】  
パラリンピック夏冬合わせて5回出場のマルチアスリート



神保 康広(じんぼ やすひろ)

【車いすバスケットボールプログラム】  
パラリンピック男子車いすバスケットボール元日本代表(4大会出場)



橘 貴啓(たちばな たかひろ)

【車いすバスケットボールプログラム】  
車いすバスケットボールチーム「NO EXCUSE」現役プレイヤー



永尾 嘉章(ながお よしふみ)

【車いす陸上プログラム】  
夏季パラリンピックに7大会出場(夏季大会出場回数は日本人最多)  
アテネパラリンピック日本選手団主将  
4×400m(T53/54クラス)銅メダル獲得



高田 朋枝(たかだ ともえ)

【ゴールボールプログラム】  
北京パラリンピック女子ゴールボール日本代表(7位入賞)  
インドネシア2018アジアパラ競技大会金メダル

## 特徴③ 伝えたい4つの学び！

### 他者のことを

#### 自分ごととして考える心

他者が抱える問題を自分のこと、同じ仲間のこととして捉える力を持つ大切さを学ぶことができます。

### 障がいとはなにか？

「障がい」とは「障がい者自身」が持つものではなく、社会に存在するものとする考え方や多様性を認め合うことの大切さを学ぶことができます。

### 可能性に挑戦する勇気

「障がい」の有無に関係なく、すべての人が個々の可能性を持っていることに気づき、勇気を持って挑戦することの素晴らしさを学ぶことができます。

### 「夢」や「目標」を持つ力

パラアスリートがアスリート生活を通じて経験してきた夢や目標を持つ価値と重要性について、直接話を聞くことで肌で感じることができます。

全国での実施実績や参加した児童生徒、教員の声はこちら



## プログラム概要

実施地域：全国

実施対象：小・中・高・特別支援学校の児童生徒

実施人数：1学年～全校生徒(応相談)

実施時間：90分

実施費用：30,000円/回(交通費・消費税等含)

募集期間：年間4回

第1次募集＜2025年4月～6月実施分＞

第2次募集＜2025年7月～9月実施分＞

第3次募集＜2025年10月～12月実施分＞

第4次募集＜2026年1月～3月実施分＞

募集期間：2025年1月20日(月)～2月14日(金)

募集期間：2025年4月7日(月)～4月18日(金)

募集期間：2025年6月30日(月)～7月18日(金)

募集期間：2025年10月6日(月)～10月17日(金)

## DE & I社会実現に向けた教育・研修プログラム「あすチャレ！」

パラサポはDE & I社会の実現に向け小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラム、企業・団体、自治体や大学向けの研修プログラムを提供しています。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

### あすチャレ! スクール



パラスポーツのデモンストレーション、体験、講話を通じ共生社会への気づきや学びの機会を提供するパラスポーツ体験型出前授業。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

### あすチャレ! ジュニアアカデミー



チガイが際立つパラアスリート講師から共生社会を学ぶワークショップ型授業。受講形式はオンライン、対面を選択可。

企業・団体・自治体・大学  
向け研修プログラム

### あすチャレ! Academy



パラスリート講師とのコミュニケーションを通じ障がいに対するギモンを解決。コミュニケーション編、合理的配慮編などのプランがありオンライン、対面、ハイブリッドを選択可。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

### あすチャレ! 運動会



パラスポーツの魅力を「リアル」に体感してもらい、そこから生まれる「気づき」を提供するパラスポーツ運動会プログラム。

企業・団体・自治体・大学  
向け研修プログラム

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

### あすチャレ! メッセンジャー



スピーチトレーニングを経て、伝えるスキルを体得したパラリンピアンやパラアスリートの認定講師(メッセンジャー)による講演プログラム。

## 教育・研修プログラム「あすチャレ！」の特徴

- ✓講師はトレーニングを受けたパラアスリートを中心とした約80名
- ✓これまでに全国で5,600回、58万人以上が参加(5プログラム合計|2016年4月~2025年3月末)
- ✓年間900回開催、オンライン、対面、ハイブリッド型と選択できる受講形式



## パラリンピック競技団体・アスリート支援



28のパラリンピック競技団体が活用している共同オフィス(東京都港区赤坂)



パラスポーツ専用体育館「日本財団パラアリーナ」(東京都品川区東八潮)



パラリンピック競技団体の基盤強化を目的とし、2015年11月にオープンしたパラリンピック競技団体・関係団体との**共同オフィス運営**、安定した団体運営に欠かせない事務局人件費、普及啓発費、広報・マーケティング費を中心とした**助成金制度**、そして事務局コスト削減とガバナンス強化を目的とした競技団体向け**シェアードサービスの提供**などを実施。2018年6月からは、パラアスリートの練習環境整備を目的とした**「日本財団パラアリーナ」**を運営。パラリンピック競技の日本代表チームやクラブチームの練習等で、延べ6.8万人を超えるパラアスリートが活用。  
\*2020年度はコロナ療養施設として利用のため休館

### 【メディアからのお問い合わせ先】

パラサポ PR 事務局 (株)アンティル 担当:清水・滝川・前川・鋤崎

TEL:03-6821-7863/ FAX:03-6685-5265/ MAIL:parasapo@vectorinc.co.jp